

クラス番号	232	ゼミタイプ	地域研究型
		担当教員名	横山由香里
テーマ	サロンプロジェクト ―当事者の声をお聴きし、私たちにできることを考える		

## ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

このゼミでは、①疾患や障害をお持ちの人やそのご家族から、お話を聞かせていただき、②私たちにどのようなことができるかを考えます。

地域には様々な人たちが住んでいます。がん、認知症などを抱えながら生きている人、妊婦さん、外国籍の人、高齢者、視覚や聴覚に障害のある人、そうした疾患や障害のある人を支えるご家族など…。

こうした人々が気持ちを語り合ったり、情報収集をしたりするために集う場（サロンやカフェ、患者会など）が地域にはいくつかあります。現在は、新型コロナウイルス感染症の影響で、対面でのサロン開催が難しい状況です。こうした状況も踏まえつつ、学びを深めたいと思います。

<キーワード> 当事者、理解、連携、場、Quality of Life

<学習目標>

- ① 困難と共に生きる人々の思いや暮らしの様子をお聴きし、課題や願いを学ぶ。
- ② 課題や願いに対し、自身や周囲の人々にできることを考え、提案することができる。
- ③ 多職種・他機関の連携や地域の人々のつながりによって、支援の幅が広がることを理解できる。

授業計画：

- (前期)
- ・ 文献や資料から当事者の思いや問題を知る
  - ・ 当事者の集まり（患者会・家族会・サロンなど）でヒアリング
- (後期)
- ・ どのような支援や関わりが可能かを考える
  - ・ 企画・立案・実施 → まとめ

備考：グループワーク形式で行います。当事者の方々にお会いするため学外に出かける場合があります。行き先は授業開始後に相談したうえで決めますが、大学近隣以外にも名古屋方面に出かけるグループがあるかもしれません。学外に出るのは、年間で2-3回の見込みです。交通費がかかる可能性があります。緊急事態宣言や感染動向によってはオンライン中心になります。

## 担当教員からのメッセージ

病気や障害、つらい出来事など、大変な状況にあっても困難に対処し生きていく人々の言葉や姿に、私自身が心を動かされたことが何度もあります。皆さんにも、当事者の方々と出会いを通して多くのことを学んでもらえたらと思います。

ゼミでは皆さんが「知りたいこと」「見てみたいこと」を応援します。ゼミ生からの企画・提案は大歓迎です。皆さんの主体的な参加を期待します。